

生涯学習

No.572

かおり高い 文化のまち

少子化による子どもたちへの影響

教育長職務代理者 河西 雄一



何年も前から全国で少子化が大きな問題となっていますが、下諏訪町でも少子化が進み、近年下諏訪北小学校のクラス数が、1クラスになる学年が出てくるといふ事態が生まれています。

私は1973年生まれで、私が中学生の頃1989年の下諏訪社中学校の生徒数は534人でした。それが今年度(2021年度)では158人と、30年

ほどで7割減となってしまいました。クラス数も3学年合計15クラスから今年は3学年で6クラスになってしまいました。

また、生徒数の減少に伴い部活動の数も減りました。1989年には、男女バスケ部、男女バレー部、野球部、サッカー部、女子軟式テニス部、卓球部、剣道部、陸上部、美術部、吹奏楽部の12の部活動がありました。現在は男女バスケ部、野球部、サッカー部、女子軟式テニス部、美術部、吹奏楽部の7の部活動になり、部活動を選ぶ時にも選択肢が少なく、なかなか希望の部活動が選べなくなってきました。今後生徒数が減り続ければ、益々希望の部

活動ができなくなってしまうことになります。

あくまでも私個人の考えではありますが、中学校の3年間で好きな部活動に情熱を燃やせる経験が、自分の人生のとても大事な宝物になると思います。ありとあらゆる部活動を再建させることはできませんが、できるだけ多くの生徒たちに、希望する部活動をさせてあげられるように取り組んでいかねばと考えます。

私が中学生だった時代に比べて子どもたちを取り巻く環境も大きく変化をしてきているので、ただ単に昔の状況へ戻すという簡単な考え方は改善できないとは思っています。

しかし、新型コロナウイルスが発生し感染拡大し続けたこの2年間、町の行事もなくなり、学校行事も中止や縮小を余儀な

くされる中、子どもたちの貴重な3年間の思い出作りの機会を考えると作ってあげられることが大切なことで、我々大人の責任ではないのかと思います。

この問題は下諏訪町だけではなく近隣市町村と、また、行政だけでなく住民たちとしっかりと問題に向き合い、真剣に取り組んでいかないといけない問題であると考えます。



新年を迎えるにあたり

下諏訪町PTA連合会長 林 芳樹



手帳開くともう2年たつなあって感じて、スマホに保存してあるスケジュールと写真を振り返ってみました。2年前には、「忘年会」「新年会」「慰労会」の予定が並び、写真を見ても、当然ノーマスク。楽しそうに居酒屋で飲んでいる自分も出てきました。たった2年前のことですが、すごく懐かしく感じてしまいます。今やマスクをしていないことの方が普通じゃないんですから。



土田英文氏講演会「子育てに活かす怒りのコントロール アンガーマネジメント」配信の様子

なってしまいました。色んなツールを駆使して、絆を大事にしていきたいですね。この2年間は、私的なことも含め本当に濃密でしたが、たくさんの方に協力いただき、支えられ、何とかやってこられました。この場を借りて心より感謝を申し上げます。

さて、今年度下諏訪町PTA連合会では、活動テーマを「WE LOVE SHIMOSUWA」とし、昨年に引き続きコロナ禍でのPTA活動を模索してきました。感染状況は悪化する一方で

したが、昨年度はやむを得ず中止とした、子育て講演会を開催することができました。YouTube配信による生放送という、新しい試みでしたが、講師の先生や配信をお手伝いいただいた業者様のおかげで、たくさんの方に講演をお届けすることができました。YouTubeやZoomなどを利用したイベントは今後も増えていくかと思えます。子どもたちもタブレット端末を利用して学習をする時代です。私たち大人も時代に置いて行かれないように、まだまだ勉強しないと

いけませんね。また、千葉県の児童が犠牲となった事故を受け、政府の要請に従い、通学路の点検を行いました。学校職員や保護者などの

関係者よりご意見を頂戴し、危険な場所の確認を行い、安全対策を現地で検討しました。町内の通学路は通勤時間帯の抜け道となっており、かなりのスピードで通行する車両が多いです。安全対策は、町で進めていただくことになっていますが、地域の皆様が安全速度で運転いただくことで、全体的な速度の抑制

になり、子どもたちの安全を守ることに なりますので、ご協力を よろしく お願い致します。



通学路点検の様子「安全運転にご協力お願いします」

この原稿を執筆中は第5波が急激に落ち着き、新規感染者がゼロの都道府県も増え、11月7日には1年3カ月ぶりに国内の死者がゼロとなりました。三大都市圏でも新規感染者が落ち着いて一安心ですが、他国では高いワクチン接種率にもかかわらず再拡大していることや、人の動きが多くなる年末年始のことを考えると、まだまだ油断はできません。

疫病が流行したら書き写して人に見せよという伝説の、アマビエ様を僕も描いてみたので、本誌に掲載いただくことにしました。感染拡大は、もう一回！が無いように、皆さんもコロナ終息を祈り、アマビエチャレンジしてみませんか？



経験とこれから

西鷹野町 濱 太郎



まず、この度無事に成人を迎えることができたことを感謝したいと思います。成人ということは、20代に突入すると同時に10代が終わったということでもあります。私は10代の間に自分自身多くのことを経験することができたと思っています。下諏訪中学では校友会長という立場を与えていただき、大勢の前で話す機会が多かったこと、また平和体験学習として広島にも行かせていただいたこと。高校では下諏訪を離れ、他県で3年間寮生活をしたこと。寮では24時間仲間と共同生活をするので、自然と人とコミュニケーションをとる力や他人についてよく考える時間を持つことができました。このような特別な経験を10代の間に多くできたと感じています。

これらは全て、今の私の心の糧になっています。私は今、デザイナーを目指し、大学でデザインを学んでいます。将来的には更に高齢化がすすむ日本で、高齢者の方が安心して生活するために役立つものや、人の記憶に残るものをデザインしたいと考えています。デザイナーは多くの人の価値観を知り受け入れることで、その人のニーズを満たしたものをデザインすることが求められます。その中で「経験」というのは非常に大事なものと考えています。多種類の「経験」を持つていることで、より人に寄り添ったデザイナーになれると思います。そのため中学や高校で様々な種類の「経験」をできたことは自分にとって大きな武器になっていると実感しています。

そして今は、これまでやったことのないことは積極的に取り組むことにしています。20歳になった今も周りの人への感謝を忘れず、意識を高く持ち自分が目指していることへの努力を続けていきたいと思っています。

成人を迎えて

南四王 井口 真甫



大学2年生になってすぐ20歳を迎えました。私は20歳になった実感はまだあまりありません。これからは自己責任となる、何をやるにも自分で行う、また大人への第一歩、20歳とはそのような節目であると共に今まで沢山の方々に支えられて生活することができたことを改めて実感しています。

私は高校卒業後、神奈川県に進学し現在は看護師になるための勉強をしています。看護の勉強は今までの学びとは全く違い、専門的な学びが沢山できます。勉強を重ねていくうちに看護師になりたいという気持ちが強くなりました。2年生になり初めて病院へ実習に行き、一人の患者さんを受け持たせていただきました。実習では経験したことないことばかりで患者さんの気持ちや医療従事者の大変さを知ることができました。現在世界中でコロナという大きな問題に直面しています。その中で沢山の医療従事者が求められています。少しでも役に立てるように日々の学びを大切に、国家試験に向けて頑張っています、将来素敵な看護師になりたいです。

上京し、今まで育った下諏訪から離れ、地元の環境の素晴らしさに気づくことができました。諏訪湖があり諏訪大社があり自然に囲まれた下諏訪が大好きです。20年間育ててくれた家族、出会った友達や仲間が沢山います。支えてくれた方々に感謝し生活していきたいです。成人という自覚と責任を持ち、夢に向かって日々成長していきたいです。

二十歳を迎えて

社東町 寺澤 達哉
てらさわ たつや



2020年、嘘のように世の中が変わった。都庁は真っ赤に染まり、思うようにやりたいことができなくなった。それでも時間だけは容赦なく流れた。私たちは今年大人になる。現実と向き合いながら20歳を迎える。

私は現在、大学進学を機に関東で一人暮らしをしている。ご飯は自分で用意する。洗濯も掃除も自分だ。都会は人が多い。変な人も多い。私が今まで過ごしてきた町とはまるで違う世界だ。今は慣れない新しい街で、色々な挑戦をするために日々奮闘している。決して故郷から出た訳ではない。成長した姿で、諏訪の街に帰ることができる日を楽しみにしている。生活している中で、自分はどれほど恵まれた環境で育ち、幾多の人に助けられてきたのかを実感した。常に味方でいてくれる両親、関わりを持ってくれた友人。本当に感謝している。

最近、大人になる時間が近づいているなど感じることも多々ある。小さい頃に思っていた自分とは少し違うかもしれない。昔からの友達とも段々と会わなくなるのだろうか。これから先、人生を左右する選択を迫られることが増えてくると思う。相変わらずの世の中で何が正解かは分からないが、迷った時は常に心躍る方を選んでいきたい。

今日までの20年は本当に一瞬だった。人生を沢山散らかしてきた。数えきれない経験をさせていただいた。感謝してもしきれない。少しずつ恩返しをしながら、一人の大人として悔いのないよう生きていく。

成人を迎えての決意

東山田 堀内 香那
ほりうち かな



まず初めに、無事成人を迎えられたことをうれしく思います。それも20年間ずっとそばにいて支えてくれた両親をはじめ、多くの友人や学校の先生、医療福祉等の施策、図書館等の施設、地域コミュニティをつくって運営して下さいました。ありがとうございます。

いよいよ私も成人の仲間入りとなりました。ですが、このコロナ禍でステイホームが重なり、友人や家族と外でお酒を飲む機会もなく家でささやかに飲まなければならなかったことは少し残念な気持ちです。また、私はまだ大学生で学生だからなのか、実感があまりわかないのも正直なところです。今はまだ学生として学業に励む日々ですが、勉強できる機会をさらに与えてもらったことに感謝しながら多くの知識を吸収し、様々な分野の知識を蓄えていきたいです。

そして、自分が社会により深く関われるように、社会に出て自分で何が問題なのか、どんな課題があるのか、見つけられる社会人になりたいです。同時に様々な問題や課題にぶつかったとき、自分の知識をその問題の解決に少しでも役立てられるよう、解決方法につながらなくても多くの選択肢を持てるような社会人になりたいです。先ほども述べたように、私はまだ学生で、さらにどのような職業に就くのかまだ決まっていません。しかし、どの職業についてもそれは私たちにとってなくてはいけない仕事であり大きな責任や役割があります。どの職業に就いても私は自分の言動に責任を持てる社会人になりたいです。

【北小卒新成人の皆さんへ】

成人式後、文化センター小ホールにてタイムカプセルを開きます。ご参加お忘れなく！

代表 濱 陽介
はま ようすけ

こどもたちの今

子育てふれあいセンター ぽけっと

就学前(0~5歳)のお子さんやお孫さんをお連れの方が来館し、自由に遊んでいただける施設です。毎月の行事は、広報informationのページをご覧ください。



すべり台はたのしいな!



ぽけっとの入口



ママのための講座
BP(親子の絆づくり)プログラム



毎月ボランティアさんによる
読み聞かせを行っています。



ころころ丸めて
よもぎだんごを
作りました。



見てみて!ハロウインの
お菓子入れができたよ!

ぽけっとの畑で
じゃがいもが
とれたよ!



はらぺこあおむしの絵本を見てい
ます。図書館のおはなしの部屋の
みなさんが来て下さいました。

秋宮スケートリンク 氷上祭のお知らせ

参加費 無料

事前申込不要
当日受付

氷上ボウリング



下駄スケート体験

日時 令和4年1月16日(日) 午前9時~正午
(開場 午前8時30分)

※悪天候またはリンクの状態が万全でない場合は中止とします。
中止の場合は7時30分にメール配信でお知らせします。

場所 ふれあい広場 秋宮スケートリンク

持ち物 帽子、手袋、マスク、スケート靴
※スケート靴はなくてもOK!
帽子、手袋、マスクの着用は必須です。



メール配信システムはこのQRコードを読み取ったリンク先の案内に従い登録してください。

その他 駐車場がありませんので徒歩でご来場ください。
新型コロナウイルス感染症の拡大状況により中止する場合があります。

ほかにも、障害物競走など楽しい種目が盛りだくさん!
ぜひご参加ください!

■ 問い合わせ 下諏訪町教育委員会 教育子ども課 スポーツ振興係 (下諏訪体育館内・火曜休館)
☎27-1455 E-Mail sports@town.shimosuwa.lg.jp

やさしい Zoom 初級講座

Zoomの使い方を覚えて、遠くにいる家族や友人と話をしよう!会議や打ち合わせにも!

- ◆日時 1/23(日)、1/30(日)、2/6(日) 全3回 10:00~11:30
- ◆会場 下諏訪総合文化センター 視聴覚室
- ◆講師 堀内 佐武 先生
- ◆対象 一般10人(町内在住、在勤の方優先)
- ◆受講料 100円(保険料)
- ◆申込 1/5(水) 9:00~ 申込期限1/20(木)
※窓口または電話にてお申し込みください。
※受講生のパソコンは公民館で用意しますが、持込も可能です。詳細はお問合せください。

You Tube で 公民館講座 花づくりのお話と フラワーアレンジメント



◆講演編
岡谷で花卉栽培を営む鮎澤あいざわ正浩さんに、花づくりについてお話しいただきました。
「挑戦しなくちゃ おもしろくない!」



◆フラワーアレンジメント編
久保田みすずさんによる華やかなアレンジメント。使ったお花は、すべて鮎澤正浩さんが栽培したものです。



※YouTubeはそれぞれのQRコードからご覧いただけます。

■ お申込み・お問い合わせ 下諏訪町公民館 (下諏訪総合文化センター内) ☎28-0002

1月のニュース

新成人の皆さん、ご成人おめでとうござい
ます。母の振袖に祖母が新調してくれた帯を
締めて下諏訪町成人式に出席した日を思い出
します。町に戻り、成人式で再会した旧友と
下諏訪で邂逅する度、故郷で生きる面白さを
感じます。

国民の祝日に関する法律で成人の日は「お
となになったことを自覚し、みずから生き抜
こうとする青年を祝いはげます」とありま
す。この4月から民法改正により成年年齢は
20歳から18歳へ引き下げられ、成人式の名称
や形式も変わっていくようです。「成人式」
という名称で開催されるのは、今年が最後
なるかもしれません。コロナ禍を乗り越え無
事に開催できますことを心よりお祈りいたし
ます。

さて、ヨーロッパやアメリカでは、子ども
を教育する技術と科学「ペダゴジー
(pedagogy)」「対し成人教育「アンドラ
ゴジー (andragogy)」の学習論が広がっ
ています。人間は、成熟するにつれてたくさ
んの経験をし、自己決定的でありたい思いが
ある。教育は、学習が生涯にわたる絶え間な
い探究のプロセスであると捉え、人々が学び
方を学ぶことを支援することだという考え方
です。公民館の仕事を通してその意味や価値
を問いながら、町の生涯学習・社会教育の場
を地域の方々と一緒に豊かにしていけたらと
思っています。

(竹淵真由)